

タカハタ。イサオ監督「火垂の墓」という映画のテーマ分析

グスタフ

0 1 4 2 0 0 3

マラナタキリスト大学

日本語文学学校

バンドン

2007

序論

今般、映画化された文学作品が多く見受けられる。その一つに野坂昭如が書いた半自叙伝の小説「火垂の墓」がある。この映画の化された小説は、戦争を題材に書かれたものである。

本論は、「火垂の墓」という映画がいかなるテーマを有しているのか分析するのが目的である。テーマを分析する際はもちろん、この作品の他の構成要素と関連つけて進める。

本論

以下に「火垂の墓」という映画の構成要素を網羅する。

1 . 登場人物

主人公： セイタ

副主人公： せつ子、親戚（おばさん）

2 . 物語の背景

場所背景： 古部、西宮

時間背景： 第二次世界大戦

社会的背景： 戦一時事下の社会

3 . プロット： 混合プロット

話の荒筋

十四才の主人公、セイタはもとは不屈の精神を持つ者で、

自制心。自信を持った者である。又、彼は、家族を大事にして
いる人間である。彼は体の弱い母親を心配して、彼女先に避難所
行くように頼んだ。しかし、途中で母親はアメリカ軍事の投した
爆弾で大怪我をしてしまい、とうとうなくなってしまった。母親
が亡くなってから、彼と妹のセツ子は、西宮にあるおばさんの家
に住むことになった。彼は、妹を悲しましたくなりなので。母親が
死んだことを彼女に先げなかったのである。彼は、努めて、妹を
気楽にした。しかし、彼はおばさんに不公平に扱われたと思った
ため、妹と一緒に避難所に行くことにした。ところが、避難所で
は、食糧不足のため、二人はますます苦しい生活を送らなければ
ならなくなったのである。

– 主人公の態度の変化

セイタは、もとは、自立心、自信、思いせりのある者ではあったが、苦しい状況のため、自己中心的な人間になり、盗みまで働いたのである。（それは以下の文章で見られる）

セイタ：“すみません、堪忍してください。妹、病気なんです”

農場主：“なにぬかす、戦時下の野荒しは重罪やねんど”

又、セイタは、自立心、自信のあるものだったが、家親。妹をなくして、生きる勇気をなくしてしまい、死を選ぼうとしたのである。

– セツ子の態度の変化

セツ子は無邪気で明るい子だった。母親の死を知り、戦争のもたらした悲惨な状況を知り、彼女は、無口になり、こわが屋になってしまったのである。

－ おばさんの態度の変化

最初、おばさんはセイタやセツ子の来宅を歓迎したが、彼女の母親の死を知ってから、彼女に対する態度が変わったのである。

－ 社会的背景

戦争は社会を変化させた。人々は戦争がもたらした苦しきによって、自己中心的なものになる傾向がある。しかし、そのような状況に立たされても相互扶助の精神を持つものもまだいるのである。

－ 場所背景

せいたとセツ子の住む町が戦争のため、崩壊してしまう。

プロット

「火垂の墓」のテーマを知るため、プロットを見る必要があるの
で、プロットも見ることにしたのである。プロットは五段階、つ
まり、状況設定、葛藤の出現、葛藤の上昇、葛藤のクライマックス、
葛藤の解決である。「火垂の墓」では、話すは、このすべて

の段階を踏んで進められている。セイタの霊出現に始まり、セツ子の死で終わるのである。

結論

「火垂の墓」という映画をさまざまは側面から見てみた結果、戦争が人間の生活に及ぼす影響がいかに大であるかというのがテーマであることが分かる。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR	i
DAFTAR ISI	iv
BAB I : PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang	1
1.2 Pembatasan Masalah	3
1.3 Tujuan Penelitian	3
1.4 Metode Penelitian	4
1.5 Organisasi Penulisan	4
BAB II : STRUKTUR FISIK CERITA	6
2.1 Ringkasan Cerita	6
2.2. Penokohan	7
2.2.1. Tokoh Utama	8
2.2.2. Tokoh tambahan	10
2.3 Latar Cerita	12
2.3.1. Latar tempat	13
2.3.2. Latar waktu	14
2.3.2. Latar Sosial	15
2.4 Alur Cerita	16
2.5 Tema	21
BAB III : ANALISIS TEMA DALAM FILM GRAVE OF THE FIREFLIES	
3.1 Penokohan	26
3.1.1 Seita	26

3.1.2 Setsuko	31
3.1.3 Obasan	34
3.2 Latar Cerita	37
3.2.1 Latar Sosial	37
3.2.2 Latar tempat	40
3.3 Alur cerita	42
BAB IV : KESIMPULAN	47
SINOPSIS	vi
DAFTAR PUSTAKA	xii
RIWAYAT HIDUP PENULIS	xiii